

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 3月 1日

【評価実施概要】

事業所番号	2770500698		
法人名	社会福祉法人和泉福祉会		
事業所名	ひかりの園グループホーム		
所在地	大阪府和泉市下宮町205-5 (電話) 0725-92-3388		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成21年2月9日	評価確定日	

【情報提供票より】(21年2月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	12人	常勤12人, 非常勤	人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨・鉄筋	造り
	2階建て	1 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 ~ 66,000 円	その他の経費(月額)	18,500 円
敷金	有() 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500 円		

(4) 利用者の概要(2月10日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	7	要介護2	4		
要介護3	5	要介護4	2		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 86.3 歳	最低	68 歳	最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ひかりの園診療所/石田歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然豊かな場所にあります。お天気の良い時には日課である散歩に行かれていたのですが、今回は雨で同行は出来ませんでした。入所者さんの会話より楽しみにされている様子が伺えました。ホーム内は、共有スペースのリビング以外に、座って会話ができるスペースもあり、その人らしく生活できるよう支援されています。家族アンケートからは、サービス内容や、対応に満足されている事が分かりました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では利用者への声かけや対応にバラつきがあったとのことですが、今回は特に気になることはありませんでした。職員研修の充実については、少しずつ改善されていますが、もう一押し期待します。
重点項目	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は管理者・生活相談員で作成され、各職員には出来上がった自己評価表をコピーで配布するのみでした。今回を機に職員全体で取り組んで行きたいと考えています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に1回以上の開催が出来ていないことがあります。今後、家族が意見等を言いやすい雰囲気作りに努力していきたいと考えています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の訪問時に話を伺ったり、3ヶ月に1回の介護計画書の見直し時に、意見を伺うようにしています。また、ホーム内に苦情を受け付ける窓口も設置されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホーム内での行事の案内状を、地域の関係機関に送付しています。地域のお祭りへの参加をしたり、保育所や小学校、中学校と積極的に交流しています。同法人の他施設とも日常的に交流されており、良好な関係を作っています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
．理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に開かれた施設を目指し、ご利用者は家庭席な雰囲気です。自立した生活が送れるようにというグループホーム独自の理念が掲げられていました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念がホームの玄関に掲示されていましたが、その前に物が置かれ見えにくい状態になっていました。又、職員に対しても理念の意識付を特に行っていませんでした。		朝礼やミーティング等職員が集まる機会に理念を共有することで、職員の意識統一及び向上を図るよう期待します。
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の幼稚園や小中学校の運動会に出かけたり、生徒がホームに来園するなどの交流があります。又、地域包括と共同で運動会を開催し、ホームでの催しは地域に案内を出すなど交流を持つことに努めています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各職員には、外部評価の意義は説明されていますが、自己評価については、一部の職員で作成され、その他の職員には評価項目についてのコピーを配布するのみでした。		全員が自己評価に取り組み、又、受けた評価結果を参考にすることでサービスの質の向上に繋がると思います。今後の取り組みに期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族等に運営推進会議の案内を出し、会議が開かれているが、評価への取り組み状況及び結果の報告がされておらずサービス向上には生かされていない。会議の内容も、家族等からの意見はあまりない様です。</p>		<p>運営推進会議は本来2ヶ月に1回以上の開催が必要です。管理者より、現在の運営推進会議では家族の意見があまり出てこない為、意見を出しやすい様に取組まれるとの事でしたので、期待します。また、近隣住民もメンバーに加わって頂けるよう検討してみたいかがでしょうか。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>和泉市から毎月1回介護相談員の訪問があり利用者と話しをされ、気づいた事は和泉市より報告があります。訪問時に、職員から相談もされています。また、利用者の中に生活保護の方が入居しているので和泉市の市民生活課と相談する機会があります。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康状態に変化があったときは電話で報告、相談を行っています。又、面会に来た家族に対しては近況を伝えている。その他、3ヶ月に1回発行している新聞に合わせて個人個人の状態についての手紙を送っています。ホーム内には日々の活動写真が見やすいように掲示されています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の訪問時やサービス計画の確認時に家族にサービスについての要望を聞くようにされていますが、意見はあまり無いようです。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>基本的にはユニットの職員は固定されており、馴染みの関係が出来ています。また、普段からユニット間の交流があり、日々のミーティングでもユニットごとの情報交換がされており、職員の移動による利用者への影響は最小限に抑えられるように配慮しています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5．人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修、外部講師を招いての研修に参加し、参加していない職員に伝達されていますが、研修に参加できる機会が少ないようです。		ホーム内での勉強会の開催、外部研修への参加など年間を通しての計画を立て、職員育成に取り組むことを期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1回の大阪グループホーム協議会に参加し意見交換や相談を行っていますが、記録が整理されていませんでした。		記録を整理することで、参加していない職員も内容を知ることが出来、サービスの向上に繋がることを期待します。
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前には本人宅に面接に行き、本人との関係作りを行っています。利用後、馴染めない利用者に対しては、家族に協力してもらい慣れるまで面会に来てもらったり、自宅に一時的に帰宅する支援を行ったりしています。利用者の状態によっては家族がホーム内に宿泊する事も出来ます。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活の中でできる事を見つけ、自分でできる事はしていただける様に支援しています。又、していただいたことに対してはお礼をいい、共に生活し支え合う関係作りに努めています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1．一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>3ヶ月に1度のモニタリング及び介護計画の立案時に本人や家族に意見や要望を聞くように努めています。又、日々の生活の中でも本人に対し思いを聞いたり、行動からも把握出来るように努めています。</p>		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>担当者が本人及び家族に意見や要望を聞き、それをもとに職員全体で意見交換を行い介護計画を作成しています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度の介護計画の見直し、モニタリングはされています。しかし、本人の現状に即した計画の見直しはされておらず、日々のミーティングで伝達するのみでした。</p>		<p>状態の変化に応じた対応についてミーティングで話されていますので、それをもとに新たな介護計画の作成をされてみてはいかがでしょうか。</p>
3．多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>予定日以外に、利用者が買い物や図書館等への外出を希望された時に対応できる様に、フリーの職員を作り柔軟な支援をしています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	本人や家族が希望するかかりつけ医があれば家族送迎で対応しています。又、それ以外の利用者に対しては同法人のひかりの園診療所や協力病院の歯科医院への受診の支援や往診などで対応しています。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化や終末期の対応については、家族に対して入所前に利用不可能な状態についての説明があります。重度化した時はその都度ケース会議を開き、方針の共有、家族に緊急時の対応についての相談をしています。又、退園後の対応についての説明もしています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	普段からプライバシーを損ねないように、利用者に対する言葉かけ等に気をつけています。訪問時には見られなかったが、職員より、「トイレ誘導時の声かけが大きくなるときがあるので反省している」との話がありました。		管理者が、今後ミーティングや勉強会でプライバシーについての認識を深めていきたいと考えていますので、今後の取り組みに期待します。
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	決まった一日の生活の流れはありますが、起床時間や終身時間も個々のペースに合わせています。また、買い物や散歩、編み物等その人に合わせた生活の支援をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付け、配膳下膳、食器洗いなど職員と一緒にできる事はしてもらっています。又、利用者の誕生日の日は3時のおやつと夕食の希望を聞き、楽しみを持てる機会を作っています。ただ、職員の体制上利用者とは別に食事をされています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に3回の決まった入浴日がありますが、本人から希望や状態に合わせて入浴日を入れ替えたり、追加したりと柔軟に対応しています。また、1人ずつゆっくりと入浴できるように支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯、掃除、食事の準備や後片付け、カーテンの開閉、館内放送等、利用者一人一人に合わせた方法で役割があります。又、季節ごとに運動会や花見、クリスマス会等を企画し楽しみを持って生活が送れるように支援しています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は毎朝散歩に行っています。その他に、週3回買い物の日があったり、ドライブに出かけたりと、日常的に外出する機会を持っています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、階段の降り口、エレベーターに鍵がかけられ、利用者が館内及び建物の外へ、各ユニット毎も自由に出入りできないようになっていました。		安全面もあると思いますが、まず館内を自由に移動できる事から始めて頂き、少しずつでも、鍵をかけないケアに取り組んでいただけるよう期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署から訓練の申し入れはあるが、今のところ実施されていません。災害時の備蓄については現在検討中とのことです。</p>		<p>非常災害時に対するマニュアルを作成し、年に数回非常災害時に備え訓練の実施は必要と思われます。又、非常災害時は地域の助けも必要になってきますので、地域との合同訓練等も検討されてみてはいかがでしょうか。</p>
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者がしっかり水分や食事が取れるよう刻み食等、個別に合った食事を提供したり、好きな飲み物を提供されています。毎日食事量をチェックし、利用者一人一人の状態把握に努めています。特に水分量の少ない利用者には、ミーティング時に各職員に伝え、十分な水分量を摂取できるように支援しています。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>明るく清潔な環境で、共用スペースの窓からは山が見え、ゆっくり過ごせる空間になっています。又、リビング以外にもゆっくりと過ごせるスペースがあります。利用者で作成した季節の貼り絵などを壁にはり季節感を味わえるようにしています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には自宅より使い慣れたタンス、テレビ、その他の日用品を持ち込め、利用者一人一人心地よく過ごせる空間になるよう配慮されています。又、各自居室の表札や暖簾を用意し独自の居室が作り上げられるよう配慮されています。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。